

建築・都市デザイン工学専攻 カリキュラム・ポリシー

(博士前期課程)

建築・都市デザイン工学での技術革新を先導的立場で推進できる高い専門知識と技能を有した技術者を育成するために、「専門」、「専門横断」、「共通横断」の区分に基づいて教育課程を編成する。

1. 「専門」では、講義、演習、およびゼミ形式の授業により高度で幅広い知識・技術を身につける。
2. 「専門横断」では、研究の基礎となる文献調査(必修)ならびに特色のある実践的な演習を通して研究にかかわる基礎力を養うとともにその他の科目で社会の要請に応える防災や職能に関する基礎知識を身につける。
3. 「共通横断」では、数理科目と学際科目を置き、専門教育・研究活動に必要な工学分野の知識と語学力を身につける。また、企業などでのインターンシップ等を行う実習形式の科目により実践的・実務的な知識と技術を修得する。